

ひと



うちだ たかつ やす
内多 勝 康 さん (53)

と痛感しました」。もみじの家で楽しい時間をすごし英気を養ってもらおう。「その先にみんなで支え育てる社会を目指していることが胸に響きました」

「ハウスマネージャー」として年間事業計画の作成、広報活動、寄付集めなど運営全般に携わります。

当初、慣れない事務仕事に挫折感も。「そんなとき力をもらったのは、『また来ます!』と生き生きと感謝の言葉をかけてくれたお母さん、子どもたちの笑顔です」

昨年4月、国立成育医療研究センター（東京都世田谷区）内に開設した「もみじの家」。重い病気を抱え自宅でケアを受けている子どもと家族が宿泊できる短期入所施設です。同月、その職員に転身しました。

器や経管栄養などの医療的ケアが必要な子どもを取材したことでした。新生児の命が救われた後、退院の先に親が背負うのは睡眠を削り、緊張がつづく過酷なケアの日々です。

医療的ケア児は推定で約

1万7千人。「制度の狭間

NHKアナウンサー歴30年での決断。「一番びくくりしているのは自分です」

契機は、番組で人工呼吸

で受け入れ先がほほえない実情も知られていません。社会で支えるしくみが必要だ

文・写真 西口 友紀恵